

## 報告

American School Health Association がCOVID-19を学校保健学的視点から  
どのように情報発信しているかについて

和田雅史<sup>1)</sup>

How the American School Health Association disseminates about Covid-19  
from a school health perspective

WADA Masafumi

### Abstract

By examining when and how the American School Health Association provided information on from the COVID-19 perspective of school health would have important implications for school education in Japan. As a result of the direct transmission by ASHA in the 6 months from March 2020 to the end of August, there were 7 contents that were aimed directly at school administrators, teachers and staff, and students, including children. The target content was three, and other research and seminar calls were two. At the same time, from the perspective of school health, as news related to COVID-19, 16 articles published by other specialized organizations are listed. Then, following the resources of these posted information, it was found that there were so many sources of information.

Although there was almost no information on COVID-19 at the Japanese school health related societies in Japan, but it is clear that ASHA sends appropriate information according to the infection situation. It can be seen that through such information transmission, correct knowledge and guidelines are presented for maintaining and improving the health and safety of children and teachers at school.

**Keywords** : school health, COVID-19, American School Health Association

### I. 学校保健における COVID-19

学校保健は、学校生活を構成する児童、生徒、学生およびそこで勤務している教職員全ての健康と安全をはかることによって教育と学習の実をあげるとともに、発育発達を促進させ、保証することによって豊かな人間形成の育成を期して実施されることにねらいがある。その意味からも、学校保健の目標としては健康安全という観点から、児童、生徒、学生、および教職員の健康の保持増進を図るとともに、最も効率的な学習環境を設定するなど学校を取り巻く教育環境の整備という視点が重要と考えられる。<sup>(1)</sup>

2019 年末に中華人民共和国湖北省武漢市

で感染が報告された新種の感染症は、その後世界的な感染爆発が起こっている。この COVID-19 (SARS-COV-2、通称新型コロナウイルス) は、社会全体に関わる健康課題であると同時に、学校教育という視点からは学校保健の課題でもある。学校保健においては、感染症の課題は重要な内容項目に位置づけられており、子どもの健康安全をいかに予防し、保証していくことができるのかが問われている。この間日本では、学校教育に関連する COVID-19 の情報は主として厚生労働省、文部科学省や都道府県の教育委員会からのものが多く、学術的な立場から学校保健に関連する諸学会からの情報発信はほとんどなされて

1) 静岡産業大学経営学部  
〒438-0043 静岡県磐田市大原1572-1

1) School of Management, Shizuoka Sangyo University  
1572-1 Owara, Iwata, Shizuoka, 438-0043, Japan.

いない。

WHO（世界保健機関）がまとめた国別感染者数および死亡者数において2020年9月時点で最もその数が多いアメリカ合衆国では、American School Health Association（アメリカ学校保健学会、以下ASHAと表記）が、公式Websiteを通じて学校現場におけるCOVID-19に対する予防、子ども達への健康安全への対策、COVID-19による疾患についての啓蒙など、様々な情報を頻繁に発信している。このことにより、会員だけではなく学校現場の教職員にも様々な最新情報が享受され、学校保健の本来の活動にも多大なる影響を与えている。

そこで、ASHAが、いつ、どのような情報を提供してきたのかを検討することにより、学校保健という視点から、日本の関連諸学会の活動にも重要な示唆を与えることになると考え、その内容をまとめた。

## II. 日米の感染者数の推移と情報の対象

図1は2020年3月1日から9月1日までの6ヶ月間の日米のCOVID-19感染者数の推移である。アメリカ合衆国の感染者数はWHOの集計結果を、日本の感染者数は厚生労働省の集計結果からあらわしたものである。この集計結果で分かるとおり、当初3月1日の感染者数では、アメリカ合衆国では日本での感染者数よりも少なく、感染の始まりは遅かった。しかし、3月第1週目にはアメリカの感染者数が一気に増加し、全米に感染が拡大している。

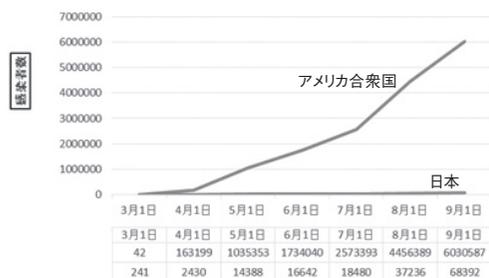


図1.アメリカ合衆国と日本のCOVID-19感染者数の推移

そこで、アメリカ合衆国で感染が拡大していく3月1日から9月1日までの6ヶ月

の期間に、このCOVID-19についてASHAが、会員、学校や教育現場の教職員に対していかなる情報を発信しているのかを学会誌、website、webinarの内容から時系列でまとめた。必ずしもASHA独自の内容とは限らず、他の専門機関にそのリソースがある情報も含めて記載した。対象とした情報は題名にCOVID-19を含むもの、内容に関してCOVID-19について記述されているものとした。同時に日本における学校保健関連学会についても比較対象として検討しようとしたが、後述する2編のみで比較対象にはならないと考えた。

アメリカ合衆国と日本の感染者数の推移があまりにも大きく異なるという状況や学校の教育制度が異なる中で、情報発信の数やその発信時期を安易に比較して評価することはできないが、新たな感染症が出現したときに、いつ、どのような情報を発信しているのかを記録しておくことは、今後の学校保健活動にとって重要である。

なお、ASHAはアメリカ合衆国の学校保健に関わる調査研究のための学術機関であり1936年に設立されている。医師、健康教育研究者、カウンセラー、栄養士、心理学者、看護師、学校管理者、教師などで構成されている学校保健に関する最大の組織であり、日本における日本学校保健学会に相当するものと考えられる。

## III. 学校保健の視点から COVID-19 に関する情報発信内容

1) ASHAからの情報発信内容（記載にあたっては、ASHAの発信日時で記載した）

① 2020/3/10

ASHA：パンデミックへの備え：コロナウイルスの学校計画<sup>(2)</sup>

保健体育指導者協会と協働で、全米の学校におけるCOVID-19の感染予防、減少、終息への手順についての議論をするためのセッションに参加を求めている。

保健当局は現在、COVID-19のアメリカ社会への流入と感染拡大を防ぐための措置を講じている。その際には、学校はこの取り組みに

おける重要な役割を果たすことができる。州および地方の保健局、州および地方の教育機関、その他の教育当局、および選ばれた職員との連携および調整を通じて、学校はこの病気に関する重要な情報とその潜在的な感染を生徒、家庭、スタッフ、コミュニティに発信していくことができる。州および地方の保健当局がそのような必要性を認識した場合、学校は COVID-19 の感染拡大を防ぐために独自の施策を行うことができる。

学習目標として次の内容を提示している。

- 発生時のコロナウイルスとインフルエンザの感染防止における学校の役割を説明する。
- 生徒、保護者、その他の学校教職員に対する予防教育を策定する。
- 感染が発生した場合は、地元の保健局の担当者と適切に協力する。
- 学校管理者や関係者と協力して、学校の休業計画を準備する。

## ② 2020/3/16

大統領発「コロナウイルスのアメリカ向けガイドライン『感染を遅らせる 15 日間』」<sup>(3)</sup>

若者でも、健康でも、感染の危険にさらされており、人々の行動が周囲の人の危険を増大させる可能性がある。コロナウイルスの感染拡大を阻止するために自分の責任を果たすことが重要である。

- 10 人以上のグループでの集まりは避ける。
- バー、レストラン、フードコートでの飲食は避ける。ドライブスルーや配達などのオプションを利用する。
- 手洗い、顔への接触、くしゃみや咳によってウイルスを体内に入れないこと。頻繁に消毒することなど、適切な衛生管理を実践する。
- 親と子どもとの接触を制限することを推奨する。
- 不要不急の活動は自粛する。これには、当面祖父母との面会を避けることが含まれる。
- 学校は将来学校が再開される際の計画が必要になるので、ASHA は Centers for Disease Control and Prevention と協力して、通常の授業に戻るための学校の準備を整える。これには、メンタルヘルスサービスの増加（スト

レス、死別など）、授業時間数の不足へのサポート、学校での予防と診療、学校行事への準備などが含まれる。

## ③ 2020/3/19

ASHA：COVID-19 – 教育および健康分野<sup>(4)</sup>  
連邦政府および州政府は、COVID-19 を最小限にとどめるために、教育セクターに課題を解決するためのさまざまな施策を提供するよう努めている。以下は COVID-19 と政府の行動に関する情報である。コロナウイルスの感染が流動的な状況であるため、この情報は定期的に更新され、変更される可能性がある。

### I. 管理アクション

#### A. 教育省

米国教育長官は、新しいコロナウイルスが学校に与える影響について、連邦教育規則の特別の規定によるため、これまでの規定に縛られることなく実施される可能性がある。コロナウイルスによる学校の閉鎖が（学年の終わりまで）続くため、州の学校長は連邦政府当局に対し、州による規定を柔軟に実施するために迅速な手続きを実施し、オンラインで障害のある生徒のために公平性を確保するためのさらなる指示を求めている。

（以下、省略）

## ④ 2020/3/29

Centers for Disease Control and Prevention：CDC からの情報をもとに「How to Protect Yourself & Others」<sup>(5)</sup> \* Centers for Disease Control and Prevention：略称は CDC。アメリカ疾病予防管理センター。アメリカ合衆国保健福祉省所管の感染症対策の総合研究所。必ずしもその日本語訳は定まっているわけではなく、米疾病対策予防センター、防疫センターなどと訳している場合もある。

### <自分を守る方法>

高齢者や、心臓や肺の病気、糖尿病などの重篤な基礎疾患を抱えている人は、COVID-19 疾患によるより深刻な合併症を発症するリスクが高いようである。

### <広がり方を知る>

- 2019 年 COVID-19 を予防するワクチンは現

在存在しない。

- 病気を防ぐ最善の方法は、このウイルスにさらされないようにする。
- ウイルスは主に人から人へと広がると考えられている。お互いに密着している人(約6フィート以内)感染した人が、咳やくしゃみをするときに発生する呼吸飛沫を通して感染する。

• これらの飛沫は近くにいる、または肺に吸い込まれる可能性のある人々の口または鼻に着弾する可能性がある。

<自分を守るための措置>

頻繁に手をきれいにする

- 特に公共の場所に行った後、または鼻をかんだり、咳をしたり、くしゃみをした後は、石鹸と水で20秒以上頻繁に手を洗う。
- 石鹸と水がすぐに利用できない場合は、少なくとも60%のアルコールを含む手の消毒剤を使用する。手のすべての表面を覆い、乾くまで両手でこする。
- 洗っていない手で目、鼻、口に触れない。(以下省略)

<周りの人を守るための措置>

密な接触を避ける

- 病気の人との密接な接触を避ける
- COVID-19があなたの地域社会に広がっている場合は、自分と他の人との距離を置く。これは、非常に病気になるリスクが高い人々にとって特に重要である。

他人を保護するための措置を講じる。

<症状のあるときは家にいる>

- 病気になった場合は、医療を受ける以外は家にいる。病気の時の対処法を学ぶ。

咳とくしゃみを覆う

- 咳やくしゃみをするときは、口と鼻をティッシュで覆う。
- 使用済みのティッシュはゴミ箱に捨てる。
- 少なくとも20秒間石鹸と水で手を洗う。石鹸と水がすぐに利用できない場合は、少なくとも60%のアルコールを含む手の消毒剤で手をきれいにする。

<マスク>

病気の場合はフェイスマスクを着用せよ。

- 病気の場合：他の人が周りにいるとき(例

えば、部屋や車を共有しているとき)、医療提供者のオフィスに入る前にフェイスマスクを着用する必要がある。フェイスマスクを着用できない場合(例えば、呼吸困難を引き起こすなど)、咳やくしゃみをカバーするために最善を尽くす必要があり、ケアをしている人々が部屋に入る場合は、フェイスマスクを着用する必要がある。病気の時の対処法を学ぶ。

- 病気でない場合：病気の人(フェイスマスクを着用できない人)をケアする場合を除いて、フェイスマスクを着用する必要はない。フェイスマスクは不足している可能性がある。(以下省略)

- アルコール溶液。

溶液は70%のアルコールが含まれていること。

#### ⑤ 2020/5/20

ASHA 会員に向けたオンライン調査の呼びかけ<sup>(6)</sup>

ASHAの支援者として、COVID-19パンデミック後の対面授業への再開に関する課題を理解するために、オンライン調査に参加することを勧める。この調査を通じて、COVID-19が学校の安全性、医療サービス、メンタルヘルスサービスに及ぼすCOVID-19の影響に加えて、COVID-19の終息後に学校に最も役立つ可能性のあるリソースとは何かを考える。

#### ⑥ 2020/5/20

CDC：K-12学校の考慮：準備と計画の手段  
K-12学校でのCOVID-19の感染と予防のための準備と計画の方法<sup>(7)</sup>

K-12学校におけるCOVID-19の感染予防のための準備と計画の方法

CDCは、学校の管理者が生徒、スタッフ、コミュニティを保護し、COVID-19の感染を予防する方法を共有するために次の準備と計画を提供している。この方法は、「学校としての配慮事項」にも対応しており、次のものが含まれる。

一般的な準備評価

毎日/毎週の準備評価

もし誰かが病気になった場合の準備  
特別な配慮とリソース

学校の管理者は、COVID-19 の感染を減らす健康的な行動、環境、および業務を促進するための初期準備を行う際に、州、地方、地域または連邦政府の職員と協力しながら、一般的な準備評価を実施することができる。毎日 / 毎週の準備評価は、以下の推奨されるべき方法によって指導される。学校においても、学校管理者は誰かが病気になった場合の対応として特別な準備をし、特別な配慮が必要である。実際の実施には、実現可能で実用的、許容可能であり、各地域社会の必要性と状況に合わせて調整する必要がある。

#### ⑦ 2020/6/14

CDC: Keep Children Healthy during the COVID-19 Outbreak <sup>(8)</sup>

Keep Children Healthy (子ども達の健康を守れ)

有用な根拠に基づけば、多くの子どもは成人よりも COVID-19 のリスクが高いようには見えない。子どもや幼児も COVID-19 に罹患しているが、これまでに知られているほとんどの症例は成人が占めている。

<Watch your child for any signs of COVID-19 illness (COVID-19 の病気の兆候がないか、子どもを見守れ)>

COVID-19 は子どもによってもその症状が異なる。多くの人にとって、COVID-19 で病気になるのは、インフルエンザにかかるようなものなのである。人々は熱や咳をしたり、深い呼吸をするのに苦痛を感じる。COVID-19 にかかった多くの子どもは、それほど深刻な症状になってはいない。その病気に罹った少数の子どもだけが深刻な症状を呈している。「子どもの健康を守れ」として以下の項目を挙げている。

- ・日々の予防行動の指導を強化する
- ・子どもが活動的に過ごすためにサポートする
- ・子ども達の社会的なつながりを維持する
- ・子どものストレス対処をサポートする
- ・あなたの子どもをサポートする

・ストレスの兆候や行動の変化に注意する

#### ⑧ 2020/7/1

「新しい学習環境への準備：COVID-19 時代の学校への配慮」と題して、Webinar の周知 <sup>(9)</sup>7月13日(月)に、「新しい学習環境の準備：COVID-19 の時代の学校」に関する配慮事項に関する1日の無料イベントに参加してほしい。地域や学校での方針を実際に実践する方法について全国の発表者から報告を聞く。

#### ⑨ 2020/7/8

ASHA 事務局長の Jeanie Alter からのメッセージ

ASHA のスタッフは、十分な注意を払って、社会的な距離を取ってリモートで作業している。これにより、応答時間が遅くなる場合がある。ただし、地域の状況に関係なく、学校の医療専門家を引き続きサポートしている。生徒にとって何が適切であるかについて明確な答えがないことはわかっているが、学校は、状況に対応し、州の保健部門からの情報とガイダンスを求めて、最善の行動方針を決定する必要がある。最新の情報については、CDC にアクセスして、米国の保育プログラムの管理者と幼稚園から高校までの暫定ガイダンスを参照することを勧めたい。どのような決断を下しても、学生の教育の継続性と食品の安全に考慮することを勧める。

#### ⑩ 2020/7/13

U.S. Department of Education から COVID-19 Information and Resources for Schools and School Personnel の情報を発信 <sup>(10)</sup>

\* U.S. Department of Education は日本の文部科学省にあたる。

保健当局は現在、全国の地域社会において COVID-19 の感染予防のための措置を講じている。教育省は、地域社会、教員、家庭にコロナウイルスの情報と対応の方法を提供することによって、あらゆる年齢の子ども達が教育の目標を追求し続ける重要性を認識している。これには、初等教育、中等教育、特別教育、高等教育、そして他の生涯学習に関連する教

育と施策の継続的な開発が含まれる。

⑪ 2020/7/24

Guidance for School Setting from CDC :  
School and Childcare Programs

学校と保育のプロラム - 計画、準備、対応<sup>(11)</sup>  
K-12 学校管理者向けの学校での布製マスクの  
使用に関するガイダンス

CDC は、すべての学校が再開する際には  
COVID-19 の感染予防のための行動順守に取  
り組むことを提案している。正しく使用する  
場合、重要な緩和戦略であるマスクを正しく  
使用すれば、COVID-19 の予防に役立つ。そ  
の他の重要な緩和戦略には、社会的距離、手  
洗い、学校やバスで頻繁に触れる表面を定期  
的に清掃して消毒することが含まれる。(以  
下省略)

⑫ 2020/9/1

Back-to-school strategies during the  
COVID-19 pandemic

COVID-19 感染拡大期の新学期戦略<sup>(12)</sup>

COVID-19 に関して最も議論され重要な問題  
の一つが学校の再開ということである。生徒、  
教師、職員そして家族の健康安全の保持が、  
学校における対面授業を実施していくのかを  
決定する上での重要な配慮事項である。(以  
下省略)

■ School Health Action (学校保健活動) に  
関連するニュースとして以下の記事を紹介し  
ている。

2020/7/7

●「CDC は学校再開を拡大していくために」  
ウイルステストの指針を提供する」<sup>(13)</sup>

●「COVID-19 学生の学力と精神的な幸福感  
への影響」<sup>(14)</sup>

●「小児科グループはコロナウイルスにもか  
かわらず子どもたちが学校に戻ることを求め  
る」<sup>(15)</sup>

●「健康へのリスクなし、学習への高いリス  
ク」<sup>(16)</sup>

●「どの部屋でも最も病原菌のある場所」<sup>(17)</sup>

●「COVID-19 ロックダウンがアメリカとヨー

ロッパの睡眠を変えた方法」<sup>(18)</sup>

●「教師は本当にマスクで仕事をすることが  
できるか?」<sup>(19)</sup>

●「学校は複雑な方程式でスクリーンの時間  
バランスを目指して努力している」<sup>(20)</sup>

●「USDA は 2020-2021 学年の終わりまで緊  
急給食免除を延長する」<sup>(21)</sup>

●「学校が独自に再開しようとするときには、  
再開のための 5 つの理由を軽視してはいけな  
い」<sup>(22)</sup>

●「USDA は、コロナウイルスの予防措置  
の中で学校給食を提供することを容易にし  
た」<sup>(23)</sup>

●「幼稚園から高校までの学校の子どもと教  
師に対する社会的情緒的支援」<sup>(24)</sup>

2020/7/21

●「学校は COVID-19 ワクチンを義務付けま  
すか、それとも責任を負いますか」<sup>(25)</sup>

●「課外活動を放棄しないことが COVID-19  
による学校の安全な再開の意識をより強くし  
ている」<sup>(26)</sup>

●報告：「コロナウイルスと学校：147 万人の  
教師が COVID-19 によって重篤な病気という  
危険性に晒されている」<sup>(27)</sup>

2020/8/18

●「学校閉鎖により COVID-19 の患者数は減  
少し、死亡者数は 60% まで減少したという  
調査結果が発表された」<sup>(28)</sup>

2) 日本学校保健学会からの情報発信内容

① 2020/4/13

「新型コロナウイルス感染の世界的拡大の状  
況の中で～学校保健関係者の皆様へのメッ  
セージ～」<sup>(29)</sup>

② 2020/8/20

「新しい生活様式に対応した健康教育・ヘル  
スプロモーションの共有を」<sup>(30)</sup>

以上 2 報のみであった。

#### IV. COVID-19に対する情報発信とその意義

2020年3月より8月末までの6ヶ月間にASHAが直接発信したCOVID-19に関する情報をまとめた結果、学校の管理者、教職員、生徒を直接対象とした内容のものが7編、子ども達を含む一般の人々を対象とした内容のものが3編、それ以外の調査やセミナーの呼びかけなどが2編であった(図2)。

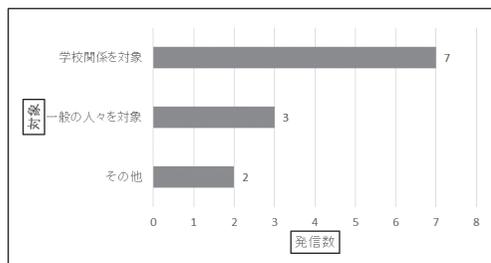


図2. 情報の対象とその数

また、同時に学校保健という視点からCOVID-19に関連するニュースとして、他の専門機関などが発表した記事も16編挙げている。そして、これら掲載された情報のリソースをたどっていくと枚挙に遑がないほど多くの情報源があることが分かった。

日本学校保健学会では、先述したようにこの間のCOVID-19に関する情報は、ほとんど皆無であり、2報の内容も巻頭言的内容であり、学校保健活動に関する具体的な対応策というものではないのに比較するとASHAの情報内容は感染の状況に合わせて、またスクールカレンダーに応じて適切な時期に適切な情報を発信していることが分かる。学会独自の情報内容があれば、他の専門機関などの情報内容を学校保健という観点から必要に応じて引用している場合もある。そして、このような情報発信を通じて、学校における子どもと、教職員の健康安全の保持増進にとって、正しい知識と指針を提示することに学会として寄与していることが分かる。

日本の場合には、文部科学省や各都道府県および地域の教育委員会からの情報発信が多くなっている傾向が見られるが、学校保健という観点から学校教育活動全般を考え、COVID-19感染症に対する具体的対策を講じ

る上で、学会など学術的な立場からの情報発信も必要と思われ、今後の活動に大いに期待したいところである。COVID-19が今後世界で、あるいは日本でどのような推移で感染が広がるのかは不確かである。仮に感染が収束していく方向になったとしても、すぐに完全に終息することは予想できない。新たな感染症として学校保健の観点から、学校における幼児、生徒、学生そしてそこで働く教職員全ての健康安全を守るために、どのように対応していくことが望ましいのかの議論を日本でも学会などが中心となって進めていくことが必要と思われる。

#### 参考文献

1. 現代学校保健学、和田雅史、共栄出版、2014年10月、p2
2. ASHA; Pandemic Preparedness-School Plants for Coronavirus
3. The President's Coronavirus Guideline for America: 「30DAYS TO SLOW THE SPREAD」
4. ASHA; COVID-19 - EDUCATION & HEALTH SECTORS
5. Centers for Disease Control and Prevention; 「How to protect yourself and others」
6. The American School Health Association is partnering with Penn State PRO Wellness to support schools during these unprecedented times.
7. CDC; Readiness and Planning Tool to Prevent the Spread of COVID-19 in K-12 Schools
8. CDC; Keep Children Healthy during the COVID-19 Outbreak
9. ASHA; 「Preparing for A New Learning Environment」
10. U.S. Department of Education; 「COVID-19 Information and Resources for Schools and School Personnel」
11. Dorothy L. Tengler; Study: 「Back-to-school strategies during the COVID-19 pandemic」

12. Guidance for School Setting from CDC ; 「Schools and Childcare Programs」
13. CDC will provide virus-testing guidance for school as pressure to reopen grows. ; Educational week
14. COVID-19's impact on students' academic and mental well-being. ; Edutopia
15. Pediatric group calls for children to return to schools despite coronavirus. ; U.S. News & World Report
16. The all-remote schedule: No risk to health, high risk to learning. ; Education Week
17. The Germiest Places in Any Room. ; We Are Teachers
18. How COVID-19 lockdown has altered sleep in the US and Europe. ; Cell Press via Science Daily
19. Can teachers really do their jobs in masks? ; Education Week
20. Schools strive for screen time balance in a complex equation. ; EdTech Magazine
21. USDA extends emergency feeding waivers through the end of 2020-2021 school year. ; Food Management
22. Ways to address gender- and sexuality-based teasing in schools. ; We Are Teachers
23. USDA just made it easier to serve school meals amid coronavirus precautions. ; Education Week
24. Social emotional supports for children and educators in K-12 schools. ; Tech & Learning
25. Will schools mandate COVID-19 vaccine or face liability? ; Education Dive
26. COVID-19 language in waivers for extracurriculars heighten reopening safety concerns. ; Education Dive
27. Report: Coronavirus and schools: 1.47 million teachers at high risk of serious illness from COVID-19. ; MassLive
28. School closures reduced Covid-19 cases, deaths up to 60%, study finds ; UPI
29. 日本学校保健学会理事長衛藤隆、日本学校保健学会 HP
30. 武見ゆかり、日本学校保健学会誌「学校保健研究」第62巻第3号巻頭言